



九州は8県なのはどうして九州というの

かつて9国に分かれていた九州

福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄の各県を合わせた地域を九州とい
 います。九州は九州本島と壱岐・対馬・五島列島・南西諸島など、およそ1400の島々
 からなりたっています。

沖縄を除く九州本島は、古くは、筑紫国(つくしのくに)、豊国(とよのくに)、火の
 国(ひのくに)、襲国(そのくに)の4国からなり、九州全島を筑紫とよんでいました。
 8世紀の初めに9国に分かれ、壱岐・対馬を除く九州本島の9国をさして九州というよ
 うになったのです。州とは、国という意味です。このいい方が現在まで続いてきているの
 です。

このように、地名にはそれぞれにいわれがあります。自分の住んでいる土地の地名のいわ
 れを調べるのもおもしろいですね。

4つの国に分かれていた四国

四国は、かつて、讃岐国(さぬきのくに)、阿波国(あわのくに)、伊予国(いよのくに)、
 土佐国(とさのくに)の4つの国に分かれていました。これらの4つの国があったので、四国
 というようになったのです。これらの4つの古い国名が、現在の香川県、徳島県、愛媛県、
 高知県となっているのです。(監修・保岡 孝之)

